

成果指標				
成果指標	活動指標事業数、教室・参加数、全国大会参加支援、その他事業数			
指標設定の考え方	体協活動や各教室・公民館活動を通して、スポーツの機会の創出・提供を行うとともに、全国大会への支援についての指標とする			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目標	1委託6教室＋支援	1委託6教室＋支援	支援	0
実績	1委託6教室＋支援	支援	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	市内のスポーツ団体の活動・育成を支援しスポーツをとおしての生きがいづくりに寄与している。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	各種スポーツ教室や大会を開催する他、全国大会出場者の激励などにより、スポーツへの関心を高めている。 また、マドンナカップの開催にも協力し続けてきたことで、国体のビーチバレーの会場となることもでき、今後もビーチバレーの聖地として盛り上げていきたい。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題